令和３年度　美作市立英田小学校　学校だより　3月号

共に 伸びる 英田っ子

～かしこく・やさしく・たくましく～

自分で考えてやってみようとする児童・相手を思いやり伝え合おうとする児童

勇気をもって。　いざ、スタートラインへ。

3月18日（金）に、令和3年度卒業証書授与式を挙行いたしました。卒業生15名全員が出席し、真剣に式に臨みました。厳粛な雰囲気の中にも、これから歩む日々への期待が、一人一人の表情から感じられました。

新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から、在校生の出席は取りやめたものの、直前まで、入場の合奏の練習や校舎内の飾り付けなど、在校生も立派な式にしようと真剣に取り組んでいました。

【はなむけの言葉】

あたたかな春の風が、卒業生の新たなスタートを後押ししているかのようです。

本日、ここに、関係者皆様の大きな祝福の中で、令和三年度　美作市立英田小学校卒業証書授与式を挙行できますことに、心から感謝申し上げます。

先ほど、立派な態度で受け取った卒業証書は、六年間の努力と成長の証です。また、自分自身だけでなく、小学校生活の一日一日を一緒に積み重ねた家族の方々にとってもかけがえのない大切な卒業証書です。

さて、みなさんが過ごした六年間は、『予測不透明』とされる「令和」の幕開け。社会の大きな転換期でありました。生まれたときから家庭、施設には、インターネット環境が必須。一層の情報機器の急速な変化等もあり、もはや、卒業生の皆さんはＺ世代の次世代と言えるかもしれません。

また、今年に入ってからは、世界平和・世界中の人権を脅かすような戦争状態がリアルタイムで、様々なメディアを通じて報じられています。私たちは、平穏な生活の中で、世界各地で起こっている物事の様子を、様々なデバイスで視聴することができます。その出来事・原因等をあたかも全て知り得たような感覚になるのも無理のないことかもしれません。

みなさんは、この六年間で確かに成長しました。低学年の頃の写真で見るあどけない表情は、もう、大人の雰囲気へと置き換わりました。特に、高学年になるにつれ、日々の生活では、楽しいことばかりは無く、周囲の人とのこと、自分自身のこと、悩むことも多くなってきました。時に、周囲とぶつかり、時に、励まされながら、自分自身を見つめる日々が続いている人もいます。

しかし、日々の生活で変化してきたのは、紛れもなく、大切な一人一人の生身の身体と心です。それは、画面の中の出来事では無く、毎日、お家の方の愛情を受け、小学校への坂を登り、様々な学習をし、運動場で走り、友だちと遊び、語りながら育てた、瑞々しいあなた自身です。

今、春の日差しを浴び、新しい目標、新しい自分を目指して、皆さんは巣立ちます。大丈夫です。絶対にあなたの輝く場所は見つかります。皆さんの成長を応援してくれる家族や友だちもたくさんいます。この先に積み重ねていく、小さくても、大切な自分の選択・決断の一つ一つを大切に、勇気をもって、それぞれのスタートラインに立ってください。自分で決めた一歩一歩こそが生きていく力になることでしょう。そして、いつの日か、　「志を果たしに」美作に、ここ英田の地に戻ってきてください。

保護者の皆様におかれましては、お子様の御卒業を心からお祝い申し上げます。立派に成長されたお子様をご覧になり、その喜びはいかばかりかと拝察いたします。

ＰＴＡ活動を始め、本校の教育活動に対する、長年の力強い御協力と深い御理解に重ねてお礼申し上げます。

そして、英田中学校区学校運営協議会を始め、地域の皆様には、今後とも、未来の英田地域を担う子どもたちを共に見守っていただけますよう重ねてお願い申し上げます。

（Ｒ４．３．２５　学校長作成）